

緑のセンターだより

No.261 令和2年12月1日発行

発行元：(公財)札幌市公園緑化協会 豊平公園緑のセンター

エゾマツ（蝦夷松）

マツ科 トウヒ属 *Picea jezoensis* Carr.

昭和41年（1966）に制定された北海道の木 エゾマツは学名を *Picea jezoensis* Carr. といい、蝦夷・北海道のトウヒのことです。ちなみに北海道に最も多く自生するトドマツは *Abies sachalinensis* Mast. で、サハリン・樺太のモミの意味です。



典型的な樹形のエゾマツ天然木（美深）

エゾマツの中でも樹皮がやや黒っぽいものをクロエゾマツと呼び、エゾマツの近縁で、樹皮が赤っぽいアカエゾマツ（*Picea glehnii* Mast.）と区別されることもあります。また、樹皮に鱗片状の亀裂がほとんどなく、トドマツのように滑らかで白っぽいものをシロエゾマツ（f.takedae）といい、阿寒湖周辺のごく限られた林分で見られます。

エゾマツは北海道、サハリン、カムチャツカ、南千島、沿海州、中国北東部、朝鮮半島などに分布します。ただし、トドマツは全道に自生していますがエゾマツは渡島半島にはなく、黒松内低地帯から北、すなわちブナ帯以北に自生しています。常緑の高木で高さ40m、胸高直径1.5m以上に達する大木で、かつての大雪山系層雲峡大函周辺には40mを超えるエゾマツが林立していた記録がありますが、昭和29年の15号（洞爺丸）台風によって倒伏失われてしまいました。しかし、台風被害から逃れた大雪原生保護林などでは今でもエゾマツの巨木を見ることができます。

エゾマツは病菌に弱い雑菌の多い地表面から発芽生育するものは少なく、倒れた木の上に生える、いわゆる倒木更新がほとんどで、また純林を作ることはなく、ミズナラ、シナなどの広葉樹やトドマツと混生しています。

大木になるだけに寿命も長く、トドマツは100～150年、エゾマツは250～300年、アカエゾマツは400年以上と長生きする樹種です。

樹形も独特で、観光バスガイドが話すようにトドマツは「天までトドけ」と上向きの枝になるのに対し、エゾマツは「どうでもエーゾ」とだらりと下向きの枝になっているので容易に区別できます。エゾマツの枝は密生し年々増加して重くなるため、写真のように下垂した独特な樹形となります。

参考文献 「北方植物園」：朝日新聞社、「大雪山の植物」：舘脇 操、
「知っておきたい100の木」：田中 潔・主婦の友社、
「朝日百科・世界の植物」：朝日新聞社、
「日本の野生植物」：平凡社



1947年に伐採された262年生のエゾマツ標本（森林総研）

12月の園芸作業

ここに記載した以外の作業も沢山ありますので
ご不明な点は緑の相談までお気軽にお問合せください。

緑の相談受付 10:00～12:00 13:00～16:00
★豊平公園 811-9370 月曜以外毎日
(月祝日の場合は受付、翌平日に休み)
※12/29～1/3 は年末年始のため休館します。
※平岡樹芸センター・百合が原公園は冬期間相談受付していません。

		作 業 時 期			作業内容
		上旬	中旬	下旬	
屋 外 園 芸	庭 木 ・ 花 木 ・ 果 樹	整枝・剪定			先月に続き、落葉広葉樹の整枝、剪定（カエデ類は水揚げ状況を確認して切る）
		冬 囲 い			冬囲いをしていないものは早めに終わらせる。
				結束点検	中低木は縄の緩みの確認・締め直し。前月作業したものの再点検を行う。
		積雪障害予防			軒下の落雪、道路際の除雪による圧雪被害予防のため囲いを補強・除雪 樹冠や枝に積もった雪は落とす。
		ネズミ食害予防			林縁や沢地に隣接する場所では積雪前に雑草を除くなどネズミの食害予防を行う。 地上部30～50cmを覆う（ペットボトルを加工してはめ込む・細かい金網を巻くなど）
室 内 園 芸	鉢 花	温 度 管 理			各植物が好む温度の置き場所へ置く。暖房による乾燥に注意
		水 や り			土が乾いて鉢が軽くなってからたっぷり与える。受皿に溜まった水は捨てる。
		施 肥			多くの植物は生育緩慢期のため、控え目か中断する。 シクラメンやプリムラなど、冬に成長・開花するものには薄い液肥を与える。
		病害虫防除			アブラムシ、ハダニ、カイガラムシなど、害虫に注意する。
		球根保存管理			ダリア、カンナ、球根ベゴニア、カラーなど、月1回は保存・保湿状態を確認
	野 菜	キッチンガーデン			葉物野菜をベビーリーフとしてプランター栽培。スプラウトなど水耕栽培
		貯蔵野菜点検			ダイコン、ニンジン、白菜、ネギ、ジャガイモ、ヤーコンなどの保存状態確認
	洋 ラ ン	温 度 管 理			デンドロ（ノビル）は10℃以下。シンビジウムは着蕾株は20℃以下の涼しいところ。 カトレアは最低12～13℃で低温管理。コショウランやデンファレは18℃以上を保つ。
		水やり・施肥			デンドロ（ノビル）は水を控え、他は植込みが乾いたら灌水。施肥は全て不要
	多 サ 肉 植 物	短 日 処 理			シャコバサボテン、カランコエなど蕾が上がるまで引き続き行う。
		冬型多肉植物の管理			リトープス、コノフィツム、アエオニウム（黒法師）は生育期。土が乾いたらしっかり灌水
		休 眠			クジャクサボテンやアデニウムは休眠期。水や肥料は不要。10℃前後で管理
	観 葉 植 物	温 度 管 理			各植物に合わせて最低10～15℃は確保
		水 や り			暖房による高温乾燥時は水切れに注意し、鉢が軽くなってから灌水。葉水も有効
		施 肥			生育緩慢期なので、施肥は控える。



Q クリスマスツリー用にゴールドクレストを買いましたが、枯らさないようにするにはどのように管理すれば良いでしょうか。？(手稲区 I.Y さん)

A ゴールドクレストは 0℃ 以下が続く場所に長時間晒さなければめったに枯れません。しかし、乾燥には弱いので水切れに注意し、ストーブなどの暖房による空気乾燥に気を付けましょう。ただし、水のやりすぎは過湿による根腐れの原因となります。

- ① 水を与える時はたっぷり、鉢底から溢れるくらい与える。
- ② 溢れて受皿に溜まった水は捨て、受皿が常に乾いた状態に保つ。
- ③ 次の水やりは鉢を持ち上げて乾燥程度を確認して与える。

以上のことに注意して水やりしてください。

植え替えは 2 年に 1 回位、6 月に入ったら行いますが根は軟らかく敏感ですので、そのまま抜いて一回り大きな鉢に植え込んでください。

葉が混みすぎると蒸れて葉枯れを起こしやすいので植替えと同時に切り戻しや枝抜きをして樹冠内を透かし、枯れた葉は手でもみ落としましょう。ハサミ等の金物は葉の切り口を茶色にしてしまいますので葉先は手で摘まんで樹形を整えるようにしてください。

展示会・開花情報（2020年12月～1月）

白い季節に彩りを



〒002-8082
北区百合が原公園 210
TEL. 011-772-3511
JR 学園都市線
「百合が原」駅下車
徒歩7～10分



巨大リース

雪景色と変わるこの時期、百合が原緑のセンター温室では12月13日(日)まで【クリスマスディスプレイ展】が開催されています。クリスマスツリーが飾られた原点「生命の象徴」に着目した今回の展示会。公園内の植物で作られた巨大リースのほか、道内で活躍されているアーティストの方々の作品も展示・販売されています。

このほか、柑橘系植物や大鉢のシンビジウムなども展示され、長く続く白い季節に彩りを添える展示会や植物をお楽しみいただけます。



シンビジウム
スリーピングビューティ 'サカキ'

「展示会情報」

・クリスマスディスプレイ展～森とアートと光と～
11/10(火)～12/13(日)

クリスマス展が始まります



〒062-0905
豊平区豊平5条13丁目
TEL. 011-811-6568
地下鉄東豊線
「豊平公園」駅下車
1番出口徒歩1分

緑のセンターでは1日から「ハンドメイド・クリスマス展」が始まります。高さ約5メートルの2本のゴールドクレストが豪華なクリスマスツリーとなり、手作りのリースやポインセチアの鉢花が館内を盛り上げます。

また2階温室では食虫植物の代表格といえるウツボカズラを展示しています。その他ハエトリグサやモウセンゴケなど風変わりな植物の姿をお楽しみいただけます。



ハエトリグサ



ウツボカズラ

「展示会情報」

・ハンドメイド・クリスマス展
12/1(火)～12/20(日)

イベント情報（12～1月）

ハンドメイド・クリスマス展

豊平公園緑のセンターでは
12月1日(火)～20日(日)にかけて
「ハンドメイド・クリスマス展」を開催します。
ボランティアさんと一緒に作り上げる
自然素材たっぷりのクリスマス展をぜひご覧ください。
園内で採取した木の実や植物を使ったリースなど
豊平公園ならではの豪華な演出を
お楽しみいただけます。

豊平公園
緑のセンター

ハンドメイド・クリスマス展
12月1日(火)～20日(日)